

# Rotary



# 週報

2023~2024年度  
国際ロータリーのテーマ

No.01408 2024.1.29 第25例会

## 世界に希望を生み出そう

### ◆本日のプログラム

1月29日(月)  
内部卓話  
「インエーションスピーチ2nd」  
末吉 賢多 会員  
笠原 英司 会員  
森本 剛仁 会員

### ◆次回のプログラム

2月5日(月)  
クラブフォーラム  
(社会奉仕)



## CREATE HOPE in the WORLD

### ◆理事・役員 (2023.7~2024.6)

会 長	相 原 利 行
副 会 長	入 江 直 人
幹 事	森 本 剛 仁
副 幹 事	井 川 浩 典
理事・S.A.A.	西 岡 貞 則
副 S.A.A.	日 笠 常 信
会 計	橋 高 正 剛
理事・職業奉仕	与 田 卓 士
理事・社会奉仕	樋 口 芳 紀
理事・国際奉仕	久 松 哲 生
理事・青少年奉仕	笠 原 英 司
理事・会員増強	末 吉 賢 多
理事・プログラム	日 笠 伸 之
理事・親睦活動	小 林 龍 平
理事・ロータリー財団	堀 川 辰 也
直 前 会 長	鴨 井 利 典
次 期 会 長	山 田 喜 広

地区のスローガン 「希望の種を播きましょう。育てましょう。」

クラブのスローガン 「仲間を増やそう」

## 岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30~13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ

事務所 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル 6階西F号室

E-mail : jimur@kyotosuzakurc.com

TEL(086)222-9590 FAX(086)224-4288

E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

内部卓話「イニシエーションスピーチ2nd」

平松 信 会員



1949年3月に生まれて、岡山大学医学部前の大学町で過ごしましたので、医学部の中でいつも遊んでいました。医師になるには興味なく、大安寺高校2年の終わりまで建築家になると決めていましたが、父親が岩本一壽会員と一緒に勤務していました岡山済生会病院の外来に行った際に、赤ん坊を抱いていた看護学生をみてから、親に相談せずに医学部に行くことを希望しました。岡山大学医学部大学院を修了した後、ロンドンのガイズ ホスピタル メディカルスクールに留学し、その後も岡山大学第3内科腎臓内科で臨床ならびに研究をしました。

今から37年前(37歳の時)に岡山済生会総合病院に第3内科から初めての医師として就職させていただきました。わが国の透析医療は血液透析が95%、腹膜透析が3%程度でした。高齢者の血液透析は負担が多かったので、腎臓内科医は一人だけでしたが、看護師と一緒に高齢者のための腹膜透析を普及しました。それまで、腹膜透析は60歳未満が望ましいとされていましたが、高齢者とともに後期高齢者、超高齢者に腹膜透析が適応であると国内ならびに国際学会で報告し、高齢者の腹膜透析が認められてきました。20年ほど前に当院の腹膜透析が112名となり日本一の患者数となりました。腎臓内科医が多くなった今でも、腹膜透析患者数は100名程度で全国の5番目前後です。当院の高齢透析患者の腹膜透析の割合は33%(3人に1人)で、全国の割合の約10倍です。

2005年に第11回日本腹膜透析研究会(現学会)の担当幹事をさせていただきました際に、「高齢者にやさしい腹膜透析～老いは必ずしもデメリットではない～」という本の作成をさせていただきました。当時の私は56歳でしたので、還暦を迎えるには、もう少し時間のかかる自分には、まだまだ高齢者の本当の気持ちは理解できていないかもしれません。しかし、多くの高齢患者さんとの出会いと別れの中で、唯一確信していることは、“老いは必ずしもデメリットではない”ということであり、“老いてこそできる生き方がある”ということです。そうでなければ、古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿といった、遠い昔からのよい伝統は国語辞典の中でしか存在しないことになります。みんなが、“老い”という未知の国に夢をもてる時代であることを願っていますと、記載していました。

腹膜透析を受けていた73歳の女性から次の短歌をいただきました。

“透析のありて命だけり 余生たのしむ今日の俸せ”

2010年8月2日に岡山北西RCに入会させていただきました。川西熊雄会長の時で、入会推薦者は岩本一壽会員と木本克彦創立会員でした。当時は岡山済生会総合病院の副院長、予防医学部長、腎臓病・糖尿病総合医療センター長で忙しい毎日でした。

国際ロータリー第2690地区の小林完治ガバナーに、職業研修チーム(VTT)の会議に参加するためにフィラデルフィアに腎臓内科医として行くように言われていました。ロータリアンでなくてもよいとのことでしたが、リーダーとして参加予定の山陰のロータリアンが行けなくなったので、私にリーダーとして行くように、そのためにはロータリアンでなければだめとのこと、当クラブに入会させていただきました。

2011年3月26日から4月1日までの日程でフィラデルフィアに派遣いただき、慢性腎臓病(CKD)をテーマに、日米の医療事情について意見交換をいたしました。滞米中に、Frankford-Northeast Philadelphia Rotary Club(Thomas Finnegan会長)の例会に出席し、世界中からの東日本大震災に対してのお見舞いの御礼を申し上げるとともに、ロータリーの国際交流を深めることができました。

翌年の22代藤岡温会長の際に出席部会の委員長を担当させていただきましたので、その後は可能な限りRCに参加してきました。入会から2年後、2012年西山隆三郎23代会長の時に副幹事、2013年横山俊彦24代会長の際に国際奉仕委員長、そして2015年堀川辰也26代会長の時に副会長を務めさせていただきました。副会長としては何のお役に立つことができませんでしたが、堀川会長のご活躍に感銘を受けていました。2016年岡本和夫27代会長の時にプログラム委員長、2018年竹本千代子29代会長の時に職業奉仕委員長をさせていただきました。2020年7月から2021年6月までに、岡山北西RCのスローガン「こころを一つに」で私が会長を務めさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染のために思うような役割ができませんでしたこと深くお詫び申し上げます。相原利行現会長に優秀な副会長を担当していただきまして感謝申し上げます。鈴木一生幹事、久松哲生副幹事、野田洋市S.A.A.、児島正典副S.A.A.をはじめ、私を支えてくださいました会員の皆様へ厚く御礼申し上げます。

創立30周年記念式典実行委員会の堀川辰也実行委員長、仲田錠二副実行委員長をはじめ、委員・会員すべての皆様のご高配に感謝申し上げます。創立30周年記念式典を1年延ばしていただきまして、次年度の岡本浩三32代会長にお世話になりましたこともありたく存じます。

岡山北西RCのさらなる発展と皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

「岡山北西ロータリークラブに入会して」

日笠 常 信 会員



一、今から13年前の平成23年3月30日に、以前こちらにいた不動産鑑定士の神田さんから、携帯電話に連絡があり、できたら明日の夕方、RCの世話役の人と会って欲しいと言われました。やむなく、神田さんの顔を立るとい意味でお会いすることにしました。当然、入会はお断りするつもりでした。が、その後の例会見学で、思ったほどには堅苦しくなかったため、入会することになりました。でも、本当は1年で退会するつもりだったのです。1年経った時に、その当時の次年度幹事の山田会員に、辞めますといったところ、6月になってからでは遅いので、もう1年いてくれないか強引に説得され、今に至ります。その後は皆さんご存知のようにインターアクトクラブのお世話をメインにしております。ただ、このことに対する不満は全くなく、可能であればずっと続けたいです。

二、次に、私の今までについて簡単に述べてみます。私は昭和36年4月2日に岡山県苫田郡奥津町(現鏡野町)土生に父俊紀、母今代の長男として生まれました。私の家は代々その場所で農業や林業をしており、父の代では、平素は津山市の企業に会社員として勤め、土日で農業や家の仕事をする状態でした。ですから、私は家族旅行というものを家内と結婚するまでしたことがありません。小学校は1クラス19人、中学校は2クラスで50人と少人数でしたが、人数が少ない分、とても濃密な時を過ごせたものと今感じております。高校は津山高等学校に行きました。津山高校出身の有名なB'zの稲葉浩志さん、それから今高校1年生ですが、女子中距離のドレーラー朱瑛里さんがいます。高校の時はこれといった明確な将来像もない、意識の低い生徒だったようです。当時、叔父が県庁に農業技師として勤務しており、自分もそういう方面であれば、仮に農業はしなくても先祖伝来の場所を守ることは出きると思い、鳥取大学農学部林学科に入学しました。大学では学生寮に入りました。この時、入学年度、学部、学科、を超えたお付き合いが多数の方ででき、そのうちの何人かとは今でも連絡し合っております。4年生になり、就職を考えるようになりました。が、当初考えていた公務員にどうしても魅力を感じられないのです。その理由として、入庁時点で30年先までの凡その将来像がほぼ判ってしまうことがあります。また、新たな産業を創造する組織でもないため、前例を忠実に踏襲して間違いなく業務を行なうことが最優先されるという、公務員としては当たり前であることが私にはとても苦痛に感じられました。そうかと言って、産業界と林学は接点が殆どありませんから、

大学にも求人さがさほど来ません。また、したい仕事でなければ無理に就職しないでもいいという考えもありました。結局、どこも就職が決まらず、卒業してしまいました。止む無く、現在の鏡野町の実家に帰り、1年過ごしましたが、何時までも家でブラブラしていると近所、親類の手前風が悪いということで、父から家を出るように言われ大阪に出て来ました。大阪に出て、バイトをしながら自分に合う就職を探したのですが、新卒で就職していないので、印象が悪く全然決まりません。今から思うと、私の場合は、自分の方から世の中に合せて行こうという姿勢があまり無く、理解されなければそれで仕方ないというオーラが滲みでていたようです。これでは決まらないのが当たり前であり、多くの人は七割の満足でも、今を受け入れ、後は恋人を作るなり、趣味に打ち込むなど、大人の解決を見出していたのでしょう。そんな折に、不動産鑑定をやっている会社の求人広告が新聞にでており、そこには業務補助者募集と書かれていました。どうせ駄目で元々で応募したところ、運よく採用され、奈良市支社配属になりました。

三、奈良支社に配属されて間もなく、大学の同級生で奈良県庁に勤務している友人に会いに行きました。友人は森林保護の業務をしながら、休日には磯釣りを楽しむなど快適な生活を送っています。それに対し、私は会社では、いわゆる昭和臭満載の上司に怒られつつも、自宅では不動産鑑定士の試験勉強をしました。私見ですが、いわゆる資格試験に合格するのは、元々頭がよくて試験勉強が苦にならない人と、あまりにも個性的過ぎて通常の会社では動かない人に大別されるようです。そんな訳で、変人が幸いしたのか何とか合格しましたが、20代後半に他の多くの方がされていたことができず、そのことは今でも残念です。試験に合格する前々年に家内と知り合いましたが、その1年半後に結婚しました。バブル景気の少し前から、不動産鑑定の需要が全国的に多くなりました。それに連れて会社も大きくなり、平成8年頃には新たな支社も開設され、私より後から入った人がかなり増え、課長をやって欲しいと会社から言われました。私は不動産鑑定の仕事は好きですが、会議は嫌いです。一不動産鑑定士でいいと会社について、課長を受けるか、辞めて独立するかを選択せよと言うのです。私は会議に出るメンドクササと自分一人で不動産を調べるメンドクササを天秤にかけ、後者の方が気楽であろうと思い、岡山に帰り独立開業することにしました。幸い、家内も付いてきてくれ、三人の娘にも恵まれ、長女が昨年結婚しました。

四、次に、私の所属する不動産鑑定業界について少し説明します。不動産鑑定士は全国に約1万人いますが、そのうち約3割が東京にいます。そしてその近隣を含めると首都圏に約5千人と全体の半分がいます。そして近畿圏と中部圏も合せると都市圏に約75%います。反対に鳥取県は13人と、その県の経済規模に応じかなりバラツキがあり、岡山県では現在51人います。仕事の内容は都市部と、地方とはかなり違いますが、共通するのは不動産鑑定士が各県の不動産鑑定士協会単位で、集団として行う仕事は都市部で約2割、地方で半分から7割程度あるということです。これは、毎年3月下旬に発表される地価公示、7月発表の相続税路線価、9月発表の地価調査、3年に1回の固定資産税の標準地評価などです。これらは全県に点在する評価地点を面的なバランスを保って評価するため、各評価員が分担して作業を行います。業務の性質上、集団でやらざるを得ないわけですが、こういう集団の業務は他の資格者の仕事ではあまりないと聞いております。これらのうち一番メインとなるのが毎年3月20日前後に発表される全国地価公示です。その業務の県単位の取りまとめ役を代表幹事といいます。令和元年から令和3年にかけての3年間この代表幹事をしましたが、最初の年に平成30年7月豪雨があり、倉敷市真備地区で大きな被災がありました。当然、地価も暴落しましたが、全国トップの下落ということでマスコミ対応が大変でした。

最後に私は現在62歳で、次の4月で63歳になります。この年齢になると、公務員なら副市長など特別職、会社員であれば、取締役など役員で、大半は年金までのつなぎで再任用など現役から半歩退いています。そういう意味では大学卒業時に就職できなかったことはある意味ラッキーだったと思っております。

以上、とりとめの話にお付き合いいただきましてありがとうございます。

### 「私がロータリークラブを続けてきた理由」

相原利行 会員



私は2003年、既に退会されていらっしゃいますが大賀会員と、藤岡会員のご推薦で入会させていただきました。

私の2週間ほど前には、山田会員、川本会員が入会され、少し後には鴨井会員、入江会員が入会された頃です。その後、私の中学校の同級生に入会していただきましたが、2014年には、その方と些細な事で人間関係が悪くなってしまい、その頃は周りの会員の方々にも気を遣わせるのが嫌で、退会を考えていました。しかし、RCの会員の方達とは、私だけでなく、家内や子ども達も人間関係が出来ておりましたので、私自身の事でその関係を断ち切ることは良くないと考え、退会を踏みとどまりました。先日、たまたまお客様が他のRCの会員で、このままクラブを続けるのかという話しになりました。その時に話しをしながら自分の頭を整理出来たのですが、これから年を重ねていく自分にとって、先輩会員の方々と接していくことが、今後の自分の道標になっていくんだと考えました。

性格的に友達を作りにくい自分にとって、これからもクラブを続けることは意義のあることだと考えています。

## 前回 1月22日の例会記録

### 出席の状況

会員数	48名(内出席免除者 0名)	出席者数	39名
欠席者数	9名	出席率	81.25%
欠席者	藤木, 原, 日笠(伸), 久松, 木本, 西岡, 田原, 氏房, 吉田		

### ビジター・ゲスト

〈京都朱雀RC〉 砂田 隆 様



〈オブザーバー〉 竹原 伸彦 様

### 会長報告

会長 相原利幸

本年度もあと半年となりました。本日、皆さんに「2023-24年度後期行事のご案内」を配布しております。創立記念夜間例会は、卓話ゲストの都合で1週間早まりました。また、初めての試みで4月24日に6RC合同懇親会が開催されます。当クラブは例会扱いとさせていただきますので、4月22日の例会を同日に変更いたします。他にも、本年度は当クラブが京都朱雀RCをお招きして、4月に親睦旅行を企画しております。こちらは親睦家族旅行も兼ねさせていただきますので、ご家族共々スケジュールを調整いただき、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。



## 幹事報告

幹事 森本 剛 仁



- ① 先週の新年互礼会には多くの皆様にご出席いただきありがとうございます。
- ② 令和6年1月1日の能登半島地震につきまして支援金のお願いがございましたので募金箱を回します。ご協力よろしくお願いいたします。
- ③ 本日例会終了後13:40よりこの部屋において「第2回被選理事役員会」が開催されますのでご関係の皆様はよろしくお願いたします。
- ④ 3月17日(日)プラザホテルにて開催の第8・第9グループIMにつきましてご案内を配付しております。ご出席の程よろしくお願いいたします。
- ⑤ 2月19日(月)18:30からグランヴィアにおいて「創立記念夜間例会」を開催いたします。ご案内を配付しておりますのでご出席くださいますようお願いいたします。
- ⑥ 後期行事のご案内、12月度社会奉仕委員会活動報告、2022-23年度地区活動報告書、ロータリーの友1月号、ガバナー月信Vol.7を配付しております。
- ⑦ ハイライトよねやまVol.286、子どもシェルターモモNews Letter No.25、被害者サポートセンターおかやま機関誌「いつでもそばに第19号」、他クラブ週報を回覧いたします。

## スマイル報告

京都朱雀砂田様：皆様ご無沙汰しております。4月楽しみにしております。

相原会長：京都朱雀RCの砂田様本日はご訪問ありがとうございます。またお土産ありがとうございます。

竹原様、本日はオブザーバーでのご参加ありがとうございます。ご入会を期待しております。

森本幹事：京都朱雀RCよりお越しの砂田次期幹事、(株)全備の竹原様、ようこそ岡山北西RCへ。本日はよろしくお願いいたします。

平松会員：本日の例会で、日笠常信会員、相原利行会長と一緒に内部卓話を担当させていただきますこと、感謝申し上げます。

日笠(常)会員：本日は私のつたないイニシエーションスピーチ2よろしくお願いいたします。

末吉会員：竹原様、入会よろしくお願いいたします。

竹本会員：京都朱雀RC砂田様、ご来訪いただきありがとうございます。

仲田会員：山田さん先日は大変お世話になりました。砂田様ようこそ北西RCへ。

川西会員：先週の例会時に誕生日の年月日を紹介されていますが、本日が私の誕生日です。私の為に大勢の方が集まってくれていると思うと感謝に堪えません。ありがとうございます。中国のことわざに「年 晩暮なりと雖も 志力 壯の如し」年はとっているけれども、意気や力は壮年の人と同じように強くたくましい。という事ですが、私の頭髪の色は年相応に真っ白ですが、若い方に負けないように頑張っついていきますので、今後とも宜しくお願いします。

高橋会員：15日の夜間例会での景品で分厚い封筒を選んで、中を開けて見てビックリしました。とりあえずスマイルします。

樋口会員：新年互礼会おつかれ様でした。

岡田会員：新年夜間例会お疲れ様でした。とても楽しい会でした。ありがとうございます。

福元会員：新年互礼会とても楽しかったです。親睦委員の皆様お疲れ様でした。また、森本幹事、ご馳走になりありがとうございます。

丹治会員：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

槌田会員：山田さん先月はお馳走様でした。砂田様いらっしゃいませ。

波多会員：山田さん、先日は大変ご馳走になりました。ありがとうございます。

藤島会員：先日山田さんにご馳走になりました。ありがとうございます。

橘高会員：森本幹事ご馳走になりありがとうございます。ネクタイを忘れたのでスマイルさせていただきます。

西岡会員：本日は仕事の都合で欠席します。申し訳ありません。

## 委員会、同好会報告等

19件 82,000円 (累計1,051,000円)

### 社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 樋口 芳 紀 会員

12月度社会奉仕委員会活動報告書を配布しております。また今年も2月17日に開催するあした彩の卒業イベントに向けて各大学でもホンデリングの取り組みを行っており、当クラブもこの活動に協力します。つきましては1月29日と2月5日に回収箱を設置しますので、ご不要になった本がありましたら例会時にお持ちください。1人1冊で50冊、100冊目標でご協力をお願いします。



## メニュー情報

本日のメニュー (1月29日(ヘルシーランチ))

岡山県産鶏の親子丼 小松菜の煮浸し  
豆乳蒸し 赤出汁 香の物、コーヒー

次回のメニュー (2月5日(ヘルシーランチ))

魚介のナージュ 柚子の香りと共に 根菜と林檎のサラダ仕立て  
苺のスープと生姜のパヴァロワ パン コーヒー



前回メニュー(1月22日)：  
金目鯛のポワレ ほうれん草のソース